



人と人が かかわり合って 文化・教養をはぐくむまち みずほ

特別支援教室による学習指導が始まりました

平成29年度までは、小学校の通常の学級に在籍している特別な支援を必要とする児童のうち、発達障害(高機能自閉症、注意欠陥多動性障害、学習障害等)のある児童の一部は、在籍する学級の授業の一部を抜けて、情緒障害等通級指導学級(一小(よつば)、四小(みどり))へ通って学習をしていました。これまでの体制では、他校の通級指導学級へ通う負担や、児童の抵抗感、また児童の在籍学級と通級指導学級の連携が図りにくいなどの課題がありました。

町では、これらの課題解決、また東京都の制度改正を受け、平成30年度から巡回指導教員が特別な支援を必要とする児童の在籍校へ出向き指導を行う「特別支援教室」による指導を開始しました。

特別支援教室の導入により期待される効果

- ・ 町内全小学校に特別支援教室を設置することで、より多くの児童が支援を受けられるようになる。
- ・ 町内全小学校に特別支援教室を設置することで、移動時間や保護者の送迎等の負担が軽減される。
- ・ 児童の在籍学級担任と巡回指導教員との連携が密になり、指導内容の充実を図ることができる。
- ・ 教職員や保護者が指導内容等を知る機会が増える。

特別支援教室のイメージ

町内すべての小学校に特別支援教室を設置し、拠点校(一小、四小)から教員が巡回して指導を行います。



校区を生かした瑞穂町における特別支援教室のグループ

校区	拠点校	巡回校
瑞中学区	一小(よつば)	三小(さくら)、五小(よつば)
二中学区	四小(みどり)	二小(みどり)

みずほっ子目標

- み** みずから学び考えるひと
- ず** すすんで社会とかかわる心豊かなひと
- ほ** ほがらか明るく元気なひと

児童・生徒数(平成30年5月1日現在)

単位:人

一小	二小	三小	四小	五小	小学校計	瑞中	二中	中学校計	小・中学校合計
393	243	306	418	200	1,560	478	404	882	2,442

小・中学校の紹介

瑞穂第一小学校



校長 小林 源久



副校長 藤森 慎一

教育目標

- 気づき考え、工夫する子
- なかよく力を合わせやりぬく子
- あかるく じょうぶな子

平成30年度も瑞穂一小の校長として勤務できることを大変嬉しく思っております。今までの集大成としてこの1年間を全力で児童の成長のために努力していきますので、ご指導ご協力をよろしくお願いします。

さて、今年度は学力向上と共に、体育の授業の充実を図っていきます。さらに、ふるさと学習「みずほ学」では、交流を通して、瑞穂町のよさや豊かさを児童と共に実感させます。生活面では、けじめのある生活を全校でできるようにします。

瑞穂第二小学校



校長 地引 平



副校長 縦山 雄三

教育目標

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健康で明るい子

「子供たちの未来の夢をかなえるために」を教育理念に、児童が生きぬくために必要な、考える、思いやる、耐える力を育ててまいります。本校は歴史ある伝統校です。郷土愛を育むふるさと学習「みずほ学」を推進し、本校を支えてこられた地域の方々の労苦や伝統、文化を継承してまいります。一方、東京都プログラミング教育推進校として、新学習指導要領の目指す新たな学びにも挑戦してまいります。本年も、家庭学習等、学力向上に向けた取り組みにご協力ください。

瑞穂第三小学校



校長 関根 孝之



副校長 野坂 純司

教育目標

- よく考える子ども
- 進んでやる子ども
- 健康な子ども

全校児童306名で30年度が始まりました。「全ての児童が自信と笑顔に満ちた姿で学ぶことができる学校」を基本理念に、児童の心身の安全と個性の伸長を第一に、基礎的・基本的な学力の定着を目指し指導を行います。また「地域の学校」であることを自覚し「チーム三小」を合言葉に全職員が力を合わせ指導に当たります。特に本年度、学習では「習得と活用」、生活では「思いやりと規律」の指導に力を入れます。保護者・地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

瑞穂第四小学校



校長 石坂 隆文



副校長 市川 利幸

教育目標

- しっかり考える子
- 仲よくする子
- すすんで取り組む子

新1年生55名を迎え、全校児童418名で開校51周年目の教育活動がスタートしました。今年度も「笑顔で生き生きと過ごすことができる安心、安全な学校」づくりを目指してまいります。児童が笑顔で生き生きと過ごすことができるよう児童の『一生懸命』な姿をたくさん引き出していきます。一人ひとりの活動意欲を高め、主人公として輝くことを大切に、教職員一同一丸となって教育活動の充実に取り組んでいきます。皆様のご支援とご協力をお願いします。

瑞穂第五小学校



校長 日野 元信



副校長 高橋 一広

教育目標

- 自ら学ぶ子 (知・体)
- 思いやりのある子 (徳)
- 最後までやりぬく子 (知・徳・体)

全校児童200名、8学級でスタートしました。今年度は、学力向上、体力向上に向けた取り組みはもとより、ふるさと学習「みずほ学」を基礎に、持続可能な未来や社会の構築のために行動できる人格形成を目指します。地域は教室、地域は先生、地域は教材。そして、地域は世界の入口ということで、「地域の中の学校」をキャッチフレーズに、迅速・的確・誠実をモットーに学校経営を行います。保護者・地域の皆様のご支援・ご協力よろしくお願いたします。

● 各校の所在地 ●

学校名	住所・電話番号
瑞穂第一小学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎2287 ☎557-0045
瑞穂第二小学校	瑞穂町大字長岡長谷部250 ☎557-0646
瑞穂第三小学校	瑞穂町大字二本木670 ☎557-0266
瑞穂第四小学校	瑞穂町箱根ヶ崎西松原2-1 ☎557-4143
瑞穂第五小学校	瑞穂町大字殿ヶ谷1160 ☎556-1377
瑞穂中学校	瑞穂町大字石畑1961-1 ☎557-0070
瑞穂第二中学校	瑞穂町大字箱根ヶ崎1172 ☎557-5501

瑞穂中学校



校長 池谷 芳彦



副校長 中西 規人

教育目標

- 「心身ともに健やかな中学生」
～持続可能な社会の形成者の育成を目指して～
- 自学 (自ら学ぶ)
 - 忠恕 (おもいやり)
 - 正義 (正しい行動)

経営方針の中心に文武両道をすえ、「わかる喜び・できる実感・学ぶ楽しさ」をモットーに学力向上を図ります。本校の教育目標である「心身ともに健やかな中学生」を目指しながら、自ら進んで学習に取り組む生徒を育成します。また、「特別の教科道徳」を実施し、防災教育、ふるさと学習「みずほ学」も推進します。全教職員で協力し合うチーム瑞中として切磋琢磨していきます。保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

瑞穂第二中学校



校長 篠原 政一



副校長 鳥居 利至

教育目標

- よりよい生き方を求め、自立と社会性の育成を目指す
- 自ら考え判断し 学び合う中学生 (知)
 - 自他を大切に 心豊かな中学生 (徳)
 - 何事にも挑戦し 努力する中学生 (体)

全校生徒405名、12学級で平成30年度が始まりました。本校では「一人一人が大切にされ、安心して学び合える学校」を学校像とし、生徒一人一人を大切に学習指導で学びの質を保障し、確かな学力が身に付く学校、いじめや暴力がなく、安心して学び合い、お互いが成長し合える学校を目指し、全教職員一丸となり進めてまいります。今後も保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

平成30年度の主な学校教育の施策について

町教育委員会では、第1次瑞穂町教育基本計画後期計画に基づき、児童・生徒の「生きる力」を育むため、学力向上施策やふるさと教育「みずほ学」の他、さまざまな教育施策を学校とともに展開していきます。

○学習サポーターの配置

小学校入学段階で規範意識の醸成と学力向上を図ります

原則として、小学校第1学年・第2学年の全学級および一部小学校第3学年に「学習サポーター」を配置し、児童が小学校の入学時に必要な力を確実に身に付けるための支援を行います。この学習サポーター制度は瑞穂町の特徴ある取り組みです。自分でできることは自分でしっかりとできるようにするための生きる力の基礎固めを担当の教員と学習サポーターが連携して育てていきます。



○瑞穂町フューチャースクール（小学校放課後学習教室・中学校土曜学習教室）

普段の学習の予習・復習を確実にを行い、学習習慣の定着を図ります

学習塾と連携・協力し、希望する小学校第6学年と中学生を対象とした補習教室を実施します。この事業をスタートさせてから、児童・生徒の学習する時間が増えています。また、学習意欲も高まっています。今年度のフューチャースクールは学校行事や部活動で参加できなかった時には、次の講座で教えてもらえるように改善しました。



○ふるさと学習「みずほ学」の推進

地域を知り、地域とかがわり、地域で学ぶことに今年も取り組みます

昨年度から、瑞穂町の全ての学校で、児童・生徒が夢や希望をもって学習するため、「ふるさと瑞穂」について学ぶ「みずほ学」を開始しています。小・中学校の総合的な学習の時間などあらゆる教科等をとおして「ふるさと瑞穂」について実際に学び、自然や文化を愛し、社会に貢献できる児童・生徒を育成します。



田植えの様子

○「みずほストップ22・SNS東京ルール」の取組

家庭での携帯電話・スマートフォンの長時間利用をストップさせます

児童・生徒の携帯電話・スマートフォンの長時間使用は瑞穂町でも大きな課題になっています。昨年の全国学力学習状況調査では、長時間使用する生徒と1時間以内に制限している生徒では、学力調査の結果で100点満点中10点以上、1時間以内に制限している生徒が高い点数を取っていることも分かりました。家庭での語らいや団らんの時間や学習時間を確保するためにご協力をお願いします。

○みずほ伝統・文化理解鑑賞教室・体験事業……スカイホールを会場に中学校第1学年を対象に「和太鼓」鑑賞と体験を行います。

○漢字・英語検定……漢字検定は小学校第3・5学年、英語検定は中学校第2学年を対象に実施します。

瑞穂町校内研究推進校、東京都教育委員会各指定校の紹介

瑞穂町校内研究推進校（全校指定）

<校内研究主題>

- | | |
|--|---|
| 一小「運動の楽しさや喜びを味わい、主体的・対話的で深い学びのある体育学習」 | 五小「多様なものに関わり、互いに尊重できる児童の育成 ～ふるさとみずほから始める、ESD実現へのプログラム～」 |
| 二小「プログラミング的思考を活用した論理的思考力の育成」 | 瑞中「思考させ、表現させる授業 ～すべての生徒が意欲的に参加できるユニバーサルデザインの授業づくり～」 |
| 三小「学習の見通しをもち、協働的に学ぶ児童を育てる指導の工夫 ～生活科・総合的な学習の時間を中心に据えた日常的な学び合いを通して～」 | 二中「生徒一人一人の生き方を支援する道徳教育 ～自ら感じ、考え、他者と対話する道徳～」 |
| 四小「主体的に学ぶ児童の育成」 | |

※今年度は、五小（11月13日開催）、二中（1月30日開催）が研究発表会を開催します。

東京都教育委員会各種指定校

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| <オリンピック・パラリンピック教育推進校>全校 | <スーパーアクティブスクール>二中 |
| <持続可能な社会づくりに向けた教育推進校>五小 | <プログラミング教育推進校>二小 |
| <道徳教育推進拠点校>瑞中 | |

委員の紹介

青少年委員 任期：平成30年4月1日から2年間

青少年に遊びの楽しさや創造の喜びを体験する場を提供し、青少年の健全育成に努めています。主な活動事業は、さくらまつりと産業まつりの「子どもの集い」や、子どもリーダー宿泊研修会などのほか、子ども会の支援やこどもフェスティバルでのブース出店などで、青少年団体の育成や青少年指導に対する援助を行っています。

【問合せ 社会教育課推進係 ☎557-6695】

職名	氏名	職名	氏名
委員長	風間 美奈	委員	成澤 藤江
副委員長	海老原 剛	委員	根岸 修
委員	上田 寿生	委員	古川 多加
委員	江川 智久	委員	細瀨 正子
委員	菅野 俊也	委員	前田 哲宏
委員	白石 渚	委員	八木 秀子
委員	田中 啓夫		

スポーツ推進委員 任期：平成30年4月1日から2年間

スポーツ推進委員は、住民に対して、各種スポーツ教室を実施するとともに、ニュースポーツの周知・普及を図り、町のスポーツ振興のため活動しています。

主な活動事業は、狭山丘陵や残堀川などのウォーキング事業、また産業まつりなどの町の事業で、ニュースポーツの周知・普及活動を行っています。

【問合せ 社会教育課体育係 ☎557-7071】

職名	氏名	職名	氏名
会長	土橋 賢一	委員	高水 昌彦
副会長	竹嶋 一茂	委員	田中亜津子
副会長	西村 元	委員	中井 明
事務局長	片倉あけみ	委員	中垣 佳奈
委員	石倉 礼一	委員	原 幸子
委員	大屋 敬則	委員	深堀 豪
委員	小山 宏	委員	牧野 壽義
委員	関谷 一慶	委員	村田 憲一

文化財保護審議会委員 任期：平成30年4月1日から2年間

文化財保護審議会委員は、町の文化財の保護・保存と文化財保護意識の向上に努めるとともに、文化財の調査などの活動をしています。

【問合せ 郷土資料館 ☎568-0634】

職名	氏名	職名	氏名
会長	平山 和治	委員	川鍋 悦子
副会長	古川 嘉勇	委員	久保田吉範
委員	会田 宏	委員	塩島 清志
委員	池谷 功	委員	高橋 公江
委員	大久保伴季	委員	渡辺 和俊

新教育委員会制度について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が平成27年4月1日に施行され、教育委員会制度が変わりました。このことにより、町では、町長と教育委員会で構成され、協議・調整を行う「瑞穂町総合教育会議」の設置、またこの総合教育会議では、教育施策の根本の方針である「瑞穂町の教育に関する大綱」の策定等を行ってきました。

改正法の経過措置により旧制度の体制を継続していましたが、教育長の任期満了（平成30年4月14日）に伴い、平成30年4月15日より新体制に移行しました。このことにより、平成30年4月15日以降の教育長は、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」となりました。

【旧制度】

委員長：教育委員会の代表者
会議の主催者

教育長：具体的な事務執行の責任者
事務局の指揮監督者



【新制度】

新「教育長」
教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表（会議の主権者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者） ※任期3年

4月15日付で鳥海俊身氏が町議会の同意を得て、町長より教育長に任命されました。
また、4月の教育委員会臨時会で、関谷忠氏が教育長より教育長職務代理者に指名されました。

瑞中吹奏楽部 全国大会初出場

2月4日に第41回東京都アンサンブルコンテストが行われ、審査の結果、瑞中吹奏楽部が東京都代表として初めて選ばれました。

初出場となった第41回全日本アンサンブルコンテスト（3月21日開催）の大舞台でも、日頃の目標である「聴いてくれる方を楽しませる」演奏を行い、見事銀賞を受賞しました。



全国大会での演奏の様子

教育課からのお知らせ

❁ 就学援助費の申請を忘れていませんか？

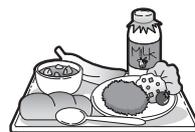
町では、経済的な理由によりお子さんの就学費用が思うようにならない家庭に対し、学用品費・給食費等の援助を行っています。

援助を受けられる費用は、「学用品費」、「給食費」、「修学旅行費」、「医療費（歯科のみ）」、「宿泊を伴う校外活動費（スキー教室・臨海学校等）」です。

援助を受けられる家庭は、町に在住していて公立の小・中学校へ就学している家庭のうち、学用品費・給食費等の支払いが困難と認められた家庭です。就学援助費の認定は、家族構成、年齢、年収等によって判定します。詳しくは、下記にお問合せください。

※平成30年3月に新入学用品費を受領されたご家庭についても、平成30年度の申請は必要です。

【問合せ 教育課学務係 ☎557-6683】



❁ 平成30年度の主な学校施設工事予定

平成30年度に行う主な学校施設の工事予定をお知らせします。小・中学校の屋内運動場等非構造部材耐震化工事期間中は、体育館および武道場が使用できなくなります。ご迷惑をお掛けしますが、児童・生徒の安全な学習環境の整備、また避難所としての機能を確保するため、ご理解、ご協力をお願いします。

学校名	工事内容	工事期間（予定）
一小 二小 三小 四小 五小	【小学校屋内運動場非構造部材耐震化工事】 災害時の吊天井等の落下事故から児童等の安全を確保するため、また、有事の際の避難所として機能させる必要があるため、屋内運動場（体育館）の吊天井等の落下防止対策工事を行います。	平成30年6月～10月
瑞中 二中	【中学校屋内運動場等非構造部材耐震化工事】 災害時の吊天井等の落下事故から生徒等の安全を確保するため、また、有事の際の避難所として機能させる必要があるため、屋内運動場（体育館）および武道場の吊天井等の落下防止対策工事を行います。	平成30年6月 ～平成31年1月

【問合せ 教育課庶務係 ☎557-6682】

❁ 瑞中 空調工事完了

防衛省から防衛施設周辺防音事業補助金を受け、瑞中の空調設備の更新工事が2月に完了しました。子どもたちの学習環境はより快適に、使用エネルギーやCO₂の排出量はこれまでより削減できるようになりました。

東京都教育委員会から「校庭芝生の親方・匠」に認証されました

校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、維持管理体制の構築や取りまとめに従事されたことに対して、四小の石坂隆文校長先生が「校庭芝生の親方」に認証（平成28年度）されました。

また、校庭芝生の維持管理に従事し、維持管理団体のメンバーである地域の方々へ技術的指導も行っていることに対して、五小の原田初男さん（学校用務員）が「校庭芝生の匠」に認証（平成29年度）されました。



図書館（瑞穂町図書館・元狹山ふるさと思い出館・殿ヶ谷図書室・武蔵野コミュニティセンター図書室・長岡コミュニティセンター図書室）

● すすめています、デジタル化 ●

デジタル化した地域資料や、町の特産物・工芸品の高詳細な画像などをインターネットで公開しています。また、瑞穂の方言の音声や、伝えられる昔ばなしなどもアニメ感覚で見られるコンテンツを追加しました。

子どもから大人まで、いつでもどこでも楽しめるホームページをぜひご覧ください。



●瑞穂町地域資料 図書館・郷土資料館連携事業公開記念講演会●

「みずほ弁 ちつとんべえ～ よかんべえ -瑞穂と多摩地域の方言の特徴-

平成30年3月18日、国立国語研究所の三井はるみ氏をお迎えし、郷土資料館けやき館で講演会を開催しました。各地方の方言音声を変えた、楽しい講演会となりました。来場者からは、「懐かしい言葉があったり、知らない言葉があったり、言葉のおもしろさが楽しめた時間でした。」「大変面白かった。身近な話題で良かった。」などの感想が寄せられ、大変好評でした。



❖瑞穂町郷土資料館 けやき館………収蔵品展「瑞穂町のくらしと祈り」

平成29年10月28日から12月3日にかけて、収蔵品展「瑞穂町のくらしと祈り」を開催しました。これは、新たに収蔵した資料を中心に、人々のくらしの姿とさまざまな祈りの形を理解して頂くために開催したものです。「くらし」のコーナーでは、昭和中頃のレコードをはじめ、明治の絵皿や竿ばかり、かつて人々のおしゃれを演出した村山大島紬や様々な下駄などを、また「祈り」では、宮大工に関する資料や、稲荷社や御嶽神社での祭礼、農業にまつわる信仰、儀礼に関する様々な資料などを展示しました。期間中、学芸員によるギャラリートークを2日間開催し、大変多くの方々にご来館頂きました。



❖耕心館・瑞穂町郷土資料館 けやき館………「みずほ雛の春まつり2018」

平成30年2月18日から3月4日まで、耕心館・瑞穂町郷土資料館けやき館の合同企画「みずほ雛の春まつり2018」を開催しました。耕心館の企画展「第13回瑞穂のつるし飾り」では今年の干支の「いぬ」と、瑞穂町各所に植樹されている「アンネのバラ」をテーマにつるし飾りの展示、企画展「瑞穂の匠」では瑞穂町在住の作家7名によるひなまつりテーマとした作品を展示しました。けやき館では、企画展「ひなまつり展2018」を開催、瑞穂町や近隣地域の方々から雛人形をお借りし展示しました。また、つるし飾りに関する展示も行い、「つるし雛作りのデモンストレーション」や「つるし雛ハンズオン」を併設しました。他にも、けやき館ガイダンスホールにて、「牡丹」をテーマにつるし飾りを展示し、2階展示ギャラリーでは懐かしい着物や洋服の展示、図書コーナーでは姉妹都市委員会による「姉妹都市モーガンヒル パネル展示」を併催しました。



耕心館 瑞穂のつるし飾りの様子



けやき館 ひなまつり展2018の様子

～ 瑞穂町にある文化財めぐり 第19回 ～

箱根ヶ崎獅子舞（無形民俗文化財）＜所在地 瑞穂町箱根ヶ崎＞

箱根ヶ崎の獅子舞の由来はつまびらかではないのですが、古来より伝わる由緒ある芸能で、江戸時代の初期にはじまったものといわれています。安政4年（1857年）には獅子舞を再建した記録があります。

明治26年の、山田範録（半六）の再生記によれば、江戸時代には盛んでありましたが、元治元年（1864年）幕末の世情騒然たる時期に一時中止となり、明治のなかば、その筋から「神事祭礼は古式により執行せよ」との布告があった時、当番の高水仁兵衛、山田半六、猪俣戸右衛門等が発起人になって再興について有志にはかり、賛成を得て明治の再生となったといわれています。

明治26年10月13日、鎮守の臨時祭礼を執行し獅子舞を奉納しました。以来、大正時代にも狭山神社の祭礼や、加藤神社の祭礼に奉納しました。箱根ヶ崎の人々は、獅子舞を奉納して五穀豊穡や雨乞い、家内安全等を祈願しました。

昭和44年（1969年）、箱根ヶ崎の古老より、獅子舞の保存と後継者問題について強い要望が出されました。そこで当時の狭山神社総代および箱根ヶ崎財産区管理会長が中心となり、町内各層に呼びかけて協議を重ね後援会を組織し、保存会が結成され今日に及んでいます。



What's your dream? ～あなたの夢は何ですか？～

町内の小中学生にインタビュー形式で将来の夢を聞くコーナーです。



第10回：三小 6年生 ^{こばやし} ^{りの} 小林 理乃さん

※4月から三小の代表委員会の委員長を務めることになった小林さん。委員会の話し合いでは、みんなの話をまとめる司会役や委員長として全校生徒の前でスピーチを行っています。インタビューの中では、人のことを大切に思う小林さんのやさしさを感じることができました。



▶あなたの夢は何ですか？
助産師です！

(出産の時に、産む人のそばにいて出産のお手伝いをしたり、妊娠中や出産後のお母さんや赤ちゃんの健康管理などを行う仕事です。)

▶その夢をもったきっかけはなんですか？

私には、2歳の弟がいます。弟が生まれた時から面倒をみていました。弟のような小さい子とのふれあいを通じて、助産師になりたいという夢を持ちました。

▶夢が叶い助産師になれば、どのようになりたいですか？

妊婦さんのお世話をしたいです。出産のお手伝いはもちろんですが、生まれる前や生まれた後も、お母さんや赤ちゃんの体や心のケアをしたいです。

▶夢の実現にむけて、今頑張っていることはありますか？

助産師になるための勉強で困ることがないよう、今は自主学習を頑張っています！

教育委員会委員談話

第15回：瑞穂町教育委員会 教育長職務代理者 関谷 忠

委員に推されて4年目を迎えました。この間、子どもたちの健全育成や授業の改善工夫など、多くのことを学校にお願いしてきました。加えて昨年度からは、「ふるさと学習『みずほ学』」が始まりました。郷土に伝わる産業、伝統芸能、文化等を地域の方をゲストティーチャーにして学ぶことで、自分たちが住むこの瑞穂町の良さを知り、郷土愛を育んでいこうとする取り組みです。

「どんな人間になってほしいですか」と保護者の方と話しますと、大概の方は「勉強のできる子、そして思いやりのある子」と答えてくれます。郷土を学び愛

する心を持つことは、その手始めになるのではないのでしょうか。また、SNSの発達などもあって、ややもすると『組織より個』に走りがちな昨今です。災害発生時に必要な『共助』を考えると、いささか不安になってきます。そんな時、子どもたちと一緒に、大人ももう一度『みずほ学』を学び直してはいかがでしょうか。



【問合せ 教育課 ☎557-6682】

教育委員会定例会・臨時会報告

1月、2月、3月および4月に定例会を1回、4月に臨時会を1回開催しました。

主な議決事項、報告事項は、次のとおりです。

<主な議決事項>

- ・第2次瑞穂町スポーツ推進計画について
- ・平成29年度一般会計補正予算(第6号)の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・平成30年度一般会計予算の原案中教育に関する部分の意見聴取について
- ・平成30年度瑞穂町立学校教育課程編成について
- ・瑞穂町教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則
- ・瑞穂町教育相談室専任相談員の任命について
- ・瑞穂町青少年委員の委嘱について
- ・瑞穂町スポーツ推進委員の委嘱について
- ・瑞穂町文化財保護審議会委員の委嘱について
- ・瑞穂町社会教育委員の委嘱について

・瑞穂町図書館協議会委員の委嘱について

<主な協議事項>

・瑞穂町教育委員会の教育目標・基本方針及び平成30年度主要施策(案)について

<主な報告事項>

- ・瑞穂町ICT教育施設整備方針について
 - ・平成29年度瑞穂町教育委員会後援名義について
- ※4月の臨時会で、教育長職務代理者に関谷忠氏が指名されました。

教育委員会の会議は、毎月1回(原則として、第4木曜日)開催し、傍聴することができます(非公開の事項を除きます)。

会議はスカイホール会議室で行われ、日時は広報みずほに掲載されます。また、ホームページから開催内容や過去の会議録を見ることができます。

【問合せ 教育課 ☎557-6682】